

MITSUBISHI

販売店・工事店さま用

取付工事説明書

ダクト用換気扇

24時間換気機能付定風量タイプ

居間・事務所・店舗用

形名

インテリア格子タイプ

VD-20ZLX6-C



別冊の「取扱説明書」はお客さま用です。必ずお渡してください

正しく安全に取付けて、お使いいただくためにこの説明書を必ずお読みください。
 なお「安全のために必ず守ること」は取付工事上、および使用上大切なことですので必ず事前にご確認ください。

- 取付工事、壁穴工事、電気工事はお買上げの販売店または専門の工事店さまが実施してください。
- この製品は居間・事務所・店舗の天井に取付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- この製品には市販の埋込みスイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フード等は三菱電機換気送風機カタログより別途ご用意ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の鋼板管、アルミフレキシブルダクト、塩化ビニル管のいずれかをご用意ください。

1. 安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの	注意	誤った取扱いをしたときに傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
	●ガス漏れに気が付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。		●直接炎のあたるおそれのある場所や油煙・有機溶剤・可燃性ガスのある場所には取付けない 火災の原因。
	●製品を水につけたり、水をかけたりしない ショートや感電の原因。		●浴室など温気の多い場所には取付けない 感電・故障の原因。
	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。		●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に 落下によりけがの原因。 ●部品の取付けは確実に 落下によりけがの原因。 ●取付の際は必ず手袋を着用する けがの原因。 ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った配線工事は感電や火災の原因。
	●交流 100V を使用する 火災・感電の原因。 ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付ける 漏電した場合発火の原因。		

お願い

お願い

24時間換気機能を得るためには下記点に留意ください。

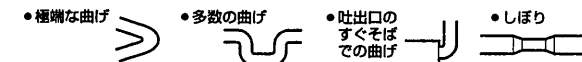
●外気導入のための給気口を設けてください。

取付け

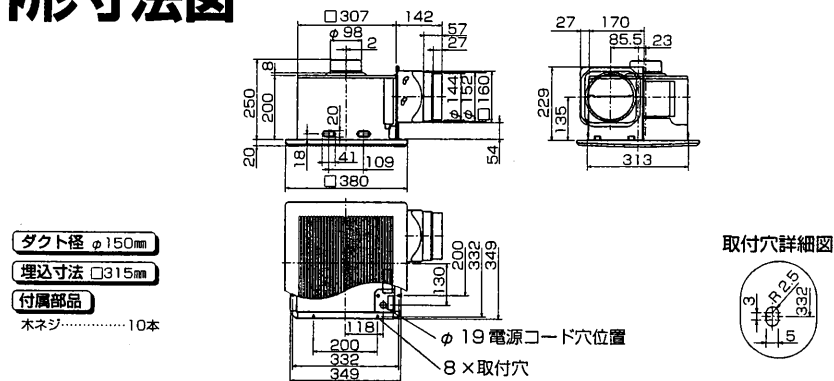
- 高温（40℃以上）になるところに取付けないでください。
- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

天井・ダクト工事

- 天井板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 傾斜天井には取付けないでください。シャッター開閉不良の原因となります。
- 排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の傾斜をつけてください。
- 排気ダクトの先端には、鳥などの侵入を防ぐためのベントキャップ（システム部材）または、雨水などの浸入を防ぐための深形フード（システム部材）などを、外風の強いところでは耐外風フードなどを取付けてください。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因となります）



2. 外形寸法図

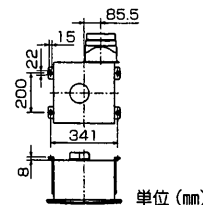


3. 取付方法

- 取付前の準備
- ダクト工事
- 本体を吊る
- 電気工事
- 風量設定
- 軽重鉄骨を組む
- 本体の固定
- 天井板を張る
- グリルの取付け

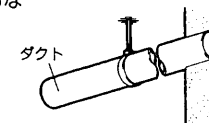
1 取付け前の準備

取付位置・壁排気穴位置を決め、市販の吊りボルト（M8）を埋め込む。（右図参照）



2 ダクト工事

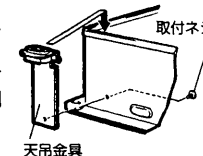
壁排気穴から本体のダクト接続口位置までダクトを配管する。
 ●ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るす。



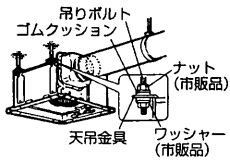
3 本体を吊る

（野線を使用する場合は4ページ a）を参照

- 1 天吊金具 P-08TK（システム部材）を取付ける。
 ●天吊金具を本体に引掛けて内側より取付ネジで固定します。

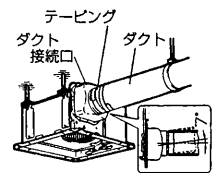


2 本体を水平にし、天吊金具を吊りボルトに取付け、ナットがゆるまないよう市販のワッシャー・ナットにて確実な処置で固定します。



3 ダクト接続口とダクトを接続する

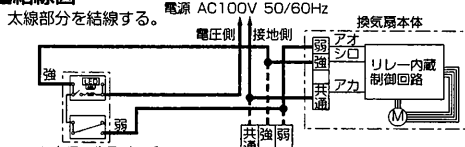
- 接続部は風漏れのないよう市販のテープを巻く。
- 塩化ビニル管との接続は、ダクト方向の調整が可能。(全方向7°)



4 電気工事 ※接続端子は図と異なることがあります。

●専門の電気工事が、電気設備技術基準に基づき行う。

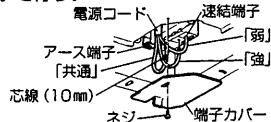
■結線図



コントロールスイッチ

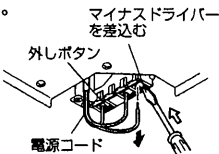
※本線部分の結線はお客様にて施工ください。
 ※コントロールスイッチP-04SWL 1台につき、換気扇1台運転です。
 ※複数台(最大3台まで)運転する時は、定格15A・AC300Vのランプなしのコントロールスイッチをご使用ください。(ランプ付スイッチを使用すると強運転ではスイッチ定格超過によりランプが故障する場合や、弱運転ではランプが点灯しない場合があります。)

- (1) 本体上部のゴムプッシュより電源コード(屋内配線VVFケーブルφ1.6、φ2)を通す。
- (2) 端子カバーのネジ1本を外して端子カバーを開け、速結端子に皮ムキした芯線を確実に奥まで差し込む。(結線図参照)
- (3) 落雷による回路保護のため、アース端子を使用して必ずD種接地工事を行う。



お願い

- 誤結線によるモーター・回路故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)はお客様さま負担となりますので結線図を十分確認の上、結線してください。
- より線を結線する場合は、市販の棒状圧着端子をより線に取付け、速結端子に確実に差し込んでください。
- 電線被ふくは本体にあるストリップゲージに合わせて、10mmむいてください。
- 電源コードは、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませてください。
- 電源コードを速結端子より外す場合は、マイナスドライバーで速結端子の外しボタン(赤色)を押しながら電源コードを引抜いてください。

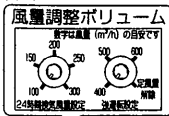


(4) 端子カバーを元通り取付ける。

5 風量設定

本体内部の風量調整ボリュームにより風量変更ができます。

- (1) 本体内部のボリュームカバーを外す。
- (2) 下表を目安に風量設定を行う。
- (3) 風量設定後、設定した風量に油性マジックで○をつける。
- (4) ボリュームカバーを元通り取付ける。



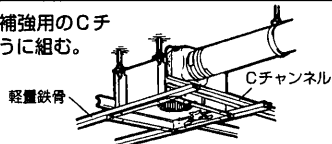
■風量設定の目安

定格電圧 (V)	定格周波数 (Hz)	設定	0 (Pa) 時		パイプ長さ 20m時 (参考値)		
			※1 風量 (m³/h)	風量 (m³/h)	風量 (m³/h)	風量 (m³/h)	
100	50/60	入	※1 400	400	400	400	
			強運転	500	500	500	500
				600	600	545	545
				100	100	100	100
			24時間運転 (弱)	150	150	150	150
				200	200	200	200
		解除		250	250	250	250
				300	300	300	300
			解除	670	670	475	475
				100	200	100	100
			24時間運転 (弱)	150	275	150	150
				200	335	200	200
	250	395	250	250			
	300	470	300	300			

※1 本体ボリュームラベルの数字を示します。
 ※風量調整ボリュームの「強運転設定」側を定風量解除に設定すると定風量機能が解除されます。この場合、弱運転は5段階から選べますが、強運転の風量設定は上表を参考にしてください。

6 軽量鉄骨を組む

軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで図のように組む。

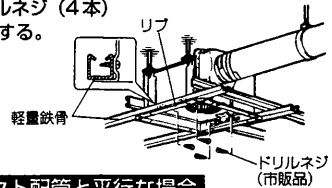


7 本体の固定 (メンテナンスができるよう固定)

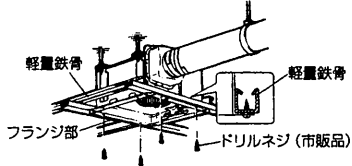
本体フランジ部の取付穴を利用し、市販のドリルネジ (4本) で軽量鉄骨に固定する。

軽量鉄骨がダクト配管と垂直な場合

本体内部のリップ (4か所) を利用し、市販のドリルネジ (4本) で軽量鉄骨に固定する。



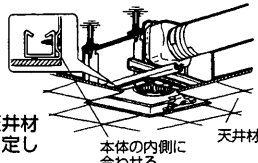
軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合



8 天井材を張る

天井材を張る。

- 本体の内寸法に合わせ、天井材に角穴を開ける。



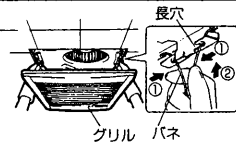
お願い

- 本体固定の際は本体と天井材にすき間のないように固定してください。(すき間がありますと風漏れの原因になります)

9 グリルの取付け

グリルを取付ける。

- グリルの2つのパネを両手でつかみ、パネを本体内部の長穴に差し込む。軽くグリルを押しして天井材に密着させる。



4. 試運転

取付工事終了後、次の確認をする。

1. コントロールスイッチによる正常な運転
2. 振動・異常音の有無

※誤結線の場合は強・弱切換えができないまたはモーターが回転しないという現象が発生します。正規結線に修正すれば正常動作します。但し100Vを超える電圧印加の場合は回路が故障しますので修理が必要です。

お願い

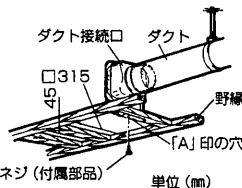
- 「弱」で24時間運転したとき、スイッチのランプの点灯が薄くなりますが、異常ではありません。
- 電源スイッチを「入」にしてから制御回路の立上げ処理及び定風量制御の自動初期設定を行うため、約10秒後にファンが運転して電源スイッチのランプが点灯します。約10秒の間に電源スイッチのランプが点灯(ファンが運転)/消灯(ファンが停止)しますが異常ではありません。

別途取付要領

a 野縁に取付ける場合

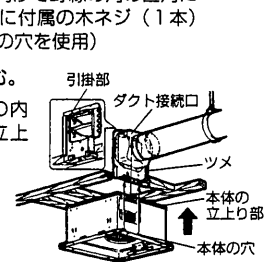
野縁の強度が十分でない場合は天吊金具を使用する。

- (1) 天井の野縁と補助野縁で取付枠を組む。
- ダクト接続口を取付ける野縁は45mm以下にする。



- (2) 本体よりダクト接続口を引抜き、野縁に取付ける。
- ダクト接続口を壁排気穴に向けて野縁の角の直角に合わせ、すき間がないように付属の木ネジ (1本) で仮固定する。「A」の印の穴を使用

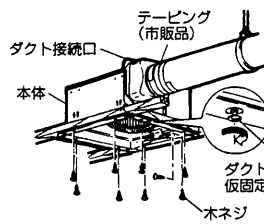
- (3) 本体を野縁にそって差し込む。
- 本体の穴とダクト接続口の内側のツメおよび、本体の立上り部とダクト接続口の引掛部がはまり込むように本体とダクト接続口を接続する。



- (4) 本体を固定する。

●本体がダクト接続口に密着していることを確認し、付属の木ネジ (10本) で本体をすき間のないようしっかり固定する。(すき間は風漏れの原因) 1本は本体側面に締め付ける。

- (5) ダクト接続口を仮固定している木ネジ (1本) を締付け、風漏れのないよう市販のアルミテープ等でダクト接続部をテーピングする。



取付方法の **4 電気工事** へつづく

